



# Cisco EPN Manager スタートアップガイド



(注) Cisco EPN Manager を初期使用のためにセットアップする必要がある管理者の場合は、[サーバのセットアップタスク](#)を参照してください。

- [Web クライアントの要件](#) (1 ページ)
- [ログインおよびログアウト](#) (2 ページ)
- [Cisco EPN Manager](#) を使用する前に完了しなければならないタスクのセットアップ (2 ページ)
- [パスワードの変更](#) (3 ページ)
- [メイン ウィンドウ コントロールの使用](#) (3 ページ)
- [デフォルトのホーム ページの変更](#) (5 ページ)
- [ダッシュボードのセットアップと使用](#) (6 ページ)
- [別の仮想ドメインで作業する](#) (34 ページ)
- [ジョブ ダッシュボードを使用したジョブの管理](#) (34 ページ)
- [ユーザ設定の変更](#) (36 ページ)
- [Cisco EPN Manager 機能の拡張](#) (38 ページ)
- [最新のインベントリに存在をチェック](#) [Cisco EPN Manager マニュアル](#) (38 ページ)

## Web クライアントの要件

次に、Cisco EPN Manager Web GUI のクライアントとブラウザの要件を示します。

- ハードウェア：以下のテスト済みサポート対象ブラウザのいずれかに対応している Mac または Windows のラップトップかデスクトップ。
- ブラウザ：
  - Google Chrome バージョン 44 ~ 70
  - Mozilla Firefox ESR 38
  - Mozilla Firefox バージョン 39 ~ 63
  - Microsoft Internet Explorer (IE) 11.0



(注) Internet Explorer のユーザは、他のブラウザと比べて動作が遅いと報告しています。一部の GUI ページは IE でロードするのに時間がかかるためです。

- 推奨される表示解像度：1600 X 900 ピクセル以上（最小：1366 X 768）




(注) 1つのブラウザセッションでCisco EPN Managerのタブを同時に3つまで開くことができます。

## ログインおよびログアウト

GUI にログインするには、Web ブラウザのアドレス フィールドに次のように入力します。  
*server-ip* は Cisco EPN Manager サーバの IP アドレスです。

**https://server-ip**

ネットワーク構成によっては、初めてブラウザを Cisco EPN Manager Web サーバに接続するときに、サーバのセキュリティ証明書を信頼するようにクライアントブラウザを更新する必要があります。これにより、クライアントと Cisco EPN Manager Web サーバ間の接続のセキュリティが保証されます。

ログアウトするには、Cisco EPN Manager ウィンドウの右上にある  をクリックし、[ログアウト (Log Out)] を選択します。

Cisco EPN Manager ユーザとそのユーザが実行できる操作については、次を参照してください。

- [Cisco EPN Manager で CLI ユーザ インターフェイスを切り替える方法](#) : Cisco EPN Manager でサポートされているすべてのユーザクラス（さまざまな CLI ユーザアカウントを含む）について説明します。
- [ユーザ グループのタイプ](#) : Web GUI ユーザが毎日実行できる機能を制御できるユーザグループメカニズムについて説明します。ユーザ インターフェイスで表示できるものと操作できるものは、ユーザアカウント権限によって制御されます。このトピックでは、デバイスのロールベース アクセス コントロール (RBAC) を管理する仮想ドメインメカニズムについても説明します。


## Cisco EPN Manager を使用する前に完了しなければならないタスクのセットアップ

Cisco EPN Manager 機能を使用するには、管理者が次のタスクを完了する必要があります。

表 1: セットアップタスクと参照



<b>Cisco EPN Manager</b> を使用する前に完了するタスク	詳細については、次を参照してください。
Cisco EPN Manager サーバのセットアップと設定を行います。	<a href="#">サーバのセットアップタスク</a>
デバイスとネットワークの管理を簡素化するために、デバイスを Cisco EPN Manager に追加してデバイスグループを作成します。	<a href="#">デバイスの追加と整理</a>
ネットワークで使用されるインターフェイスとテクノロジーのモニタリングを有効にします。	<a href="#">デバイスおよびネットワークの健全性とパフォーマンスのモニタ</a>
展開に合わせアラームとイベントの動作（アラームやイベントの更新頻度、電子メール、トラップレシーバなど）をカスタマイズします。	<a href="#">アラームとイベント管理の設定</a>

## パスワードの変更

パスワードは、Cisco EPN Manager ウィンドウの右上にある  をクリックし、[パスワードの変更 (Change Password)] を選択することによって、いつでも変更できます。情報アイコンをクリックして、パスワードポリシーを確認します。


## メインウィンドウコントロールの使用

Cisco EPN Manager タイトルバーの左上には、次のコントロールがあります。

	[メニュー (Menu)] ボタン: 左側のメインの Cisco EPN Manager ナビゲーションメニューを切り替えます (左側のサイドバーメニューとも呼ばれます)
	[ホーム (Home)] ボタン: ホームページ (通常は [概要 (Overview)] ダッシュボード) に戻ります。

タイトルバーの右側には、使用しているユーザ名と仮想ドメインが表示されます。仮想ドメインは、デバイスの論理的なグループです。仮想ドメインは、ネットワークのデバイスや領域にアクセスする人物を制御するために使用されます。割り当てられている仮想ドメインを切り替えるには、[別の仮想ドメインで作業する \(34 ページ\)](#) を参照してください。



	Web GUI のグローバル設定ボタン：ログアウト、パスワードの変更、Cisco.com のアカウントプロフィールの表示、GUI 設定の調整、Cisco.com のサポート事例の確認、オンライン ヘルプの起動
---	--



タイトルバーの右側の  をクリックすると、ウィンドウ設定メニューが開きます。

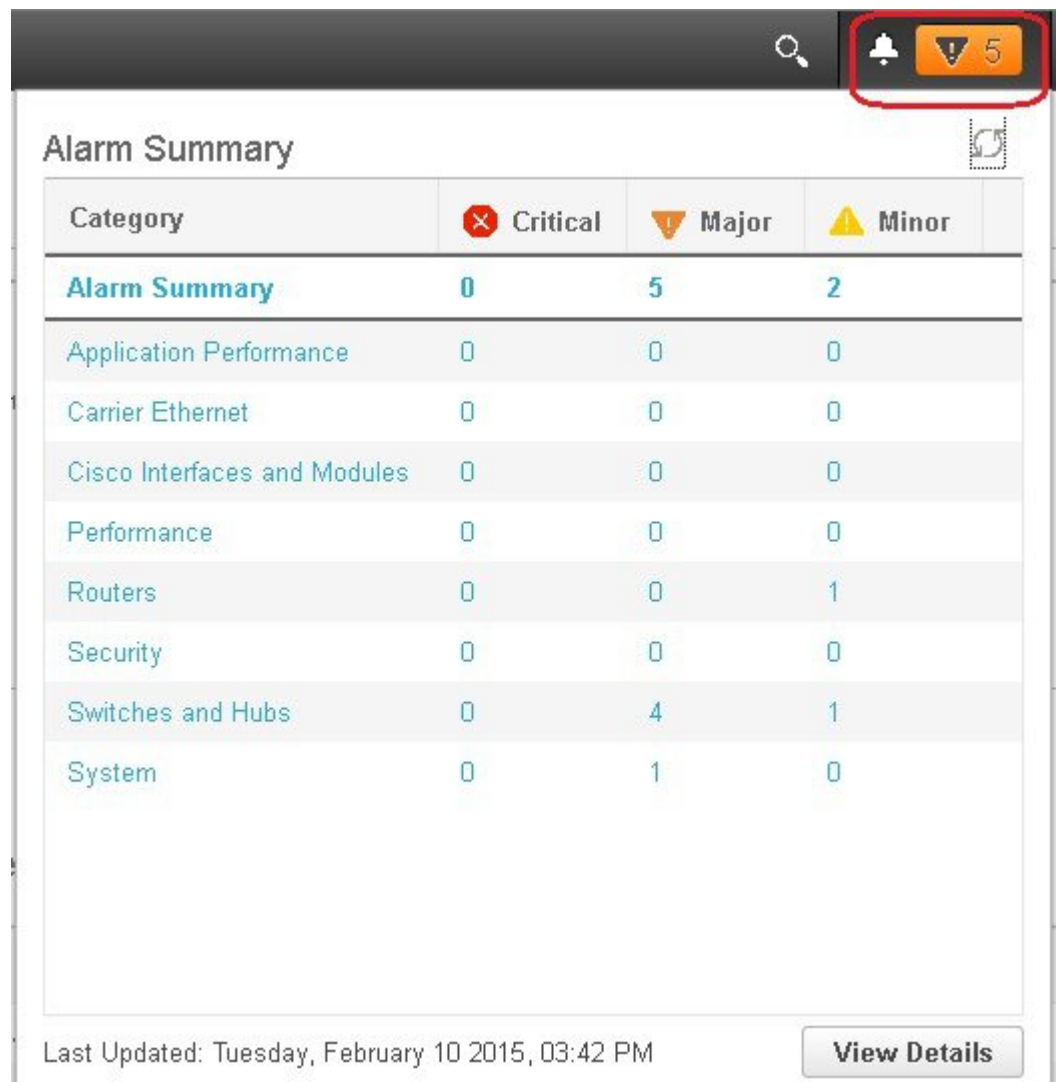
図 1: ウィンドウ設定






最後に、[アラームのまとめ (Alarm Summary)] には、ネットワーク内のアラーム数が視覚的に示されます。色は最も重大度の高いアラームを示します。

	[アラームのまとめ (Alarm Summary)] : 指定したカテゴリのアラーム数が視覚的に表示されます。この領域をクリックすると、[アラームのまとめ (Alarm Summary)] ポップアップ ウィンドウが開きます。
---	---

[アラームのまとめ (Alarm Summary)] ボタン (次の図で丸で囲んだボタン) をクリックすると、Cisco EPN Manager で [アラームのまとめ (Alarm Summary)] ポップアップ ウィンドウが開きます。ボタンとポップアップ ウィンドウの両方で表示されるデータをカスタマイズすることができます。この例では、ボタンではスイッチとハブおよびシステムアラームの数が表示され、[アラームのまとめ (Alarm Summary)] ポップアップでは次の図にリストされているすべてのアラーム カテゴリが表示されます。




Category	 Critical	 Major	 Minor
<b>Alarm Summary</b>	<b>0</b>	<b>5</b>	<b>2</b>
Application Performance	0	0	0
Carrier Ethernet	0	0	0
Cisco Interfaces and Modules	0	0	0
Performance	0	0	0
Routers	0	0	1
Security	0	0	0
Switches and Hubs	0	4	1
System	0	1	0

Last Updated: Tuesday, February 10 2015, 03:42 PM [View Details](#)

## デフォルトのホーム ページの変更

次のタスクを実行したときに、どのページが表示されるようにするかを指定できます。

- Web GUI タイトルバーの左側にある  をクリックしたとき
- Cisco EPN Manager Web GUI にログインするとき

この設定はユーザ単位で保存されます。この設定は、他のユーザに影響を与えることなく、いつでも変更できます。

**ステップ 1** 希望のページが表示されている状態で、Cisco EPN Manager Web GUI の右上にある  をクリックします。

ステップ2 [現在のページをホームとして設定 (Set Current Page as Home)] を選択します。

## ダッシュボードのセットアップと使用

ダッシュボードには、ネットワークにおける最重要データの概要が表示されます。これらは、ステータス、アラート、モニタリング、パフォーマンス、レポートの情報を提供します。ユーザにとって重要な情報のみが表示されるように、これらのダッシュボードをカスタマイズできます。デフォルトのホームページとして [ネットワーク概要 (Network Summary)] ダッシュボードを設定することをお勧めします。そうすれば、ログイン後にこのダッシュボードが表示され、何かを実行する前に、ネットワーク全体の健全性をすばやく確認できます。デフォルトのホームページとしてダッシュボードを設定するには、[デフォルトのホームページの変更 \(5 ページ\)](#) を参照してください。

以下のダッシュボードを使用して、ネットワークをモニタしたり、管理したりします。

- [ネットワーク概要 (Network Summary)] ダッシュボード：ネットワーク全体の健全性を確認します。「[\[ネットワーク サマリー \(Network Summary\)\] ダッシュボードの概要](#)」を参照してください。
- [サービス パフォーマンス (Service Performance)] ダッシュボード：キャリアイーサネットおよびオプティカルサービスのパフォーマンスをモニタします。「[\[サービス パフォーマンス \(Service Performance\)\] ダッシュボードの概要](#)」を参照してください。
- [パフォーマンス (Performance)] ダッシュボード：インターフェイス、QoS ポリシー、ITU-T Y.1731 プローブなどのネットワーク コンポーネントのパフォーマンス測定指標の概要を示します。「[\[パフォーマンス \(Performance\)\] ダッシュボードの概要](#)」を参照してください。
- [デバイストレンド (Device Trends)] ダッシュボード：特定のデバイス、アプリケーション、サービスのパフォーマンスに関する情報を表示します。「[\[デバイストレンド \(Device Trends\)\] ダッシュボードの概要](#)」を参照してください。
- [DWDM/OTNパフォーマンス (DWDM/OTN Performance)] ダッシュボード：ネットワーク内の高密度波長分割多重 (DWDM) インターフェイスおよび光トランスポートネットワーク (OTN) インターフェイスのパフォーマンスに関する情報を表示します。「[\[DWDM/OTNパフォーマンス \(DWDM/OTN Performance\)\] ダッシュボードの概要](#)」を参照してください。
- [ケーブル (Cable)] ダッシュボード：Cisco cBR-8 デバイスのネットワークに現在影響している重要な問題を含む、ケーブルネットワークのパフォーマンスに関する情報を表示します。「[\[ケーブル \(Cable\)\] ダッシュボードの概要 \(20 ページ\)](#)」を参照してください。

管理者権限を持つユーザは、次のダッシュボードも使用できます。

- [ライセンス (Licensing)] ダッシュボード：を参照してください。「[ライセンスダッシュボードの表示](#)」を参照してください。

- [ジョブ (Jobs) ]ダッシュボード : [ジョブダッシュボードを使用したジョブの管理 \(34 ページ\)](#) を参照してください。
- [システム モニタリング (System Monitoring) ]ダッシュボード : [システム監視ダッシュボードを使用して、Cisco EPN Manager サーバのヘルス、ジョブ、パフォーマンス、および API 統計をチェックする](#)を参照してください。

次の点に注意してください。

- ダッシュボード ウィンドウの各部分の説明およびダッシュボード フィルタの使用方法については、[ダッシュボードの使用法 \(26 ページ\)](#) を参照してください。
- ダッシュボード データの問題をトラブルシューティングするには、「[ダッシュボードのデータが不足している理由の特定](#)」を参照してください。

## ダッシュボードのタイプ

以下のトピックでは、Cisco EPN Manager で使用可能なダッシュボードについて説明します。

### [サービス パフォーマンス (Service Performance) ]ダッシュボードの概要

[サービス パフォーマンス (Service Performance) ]ダッシュボードから、指定した時間内の特定の回線、VC、サービスに関するパフォーマンス統計を表示できます。このダッシュボードを開くには、[[ダッシュボード \(Dashboard\)](#) ]> [[サービス パフォーマンス \(Service Performance\)](#) ]> の順に選択し、以下の表に示されているいずれかのタブを選択します。

ダッシュボードタブ	提供される情報
[CEM]	<p>選択した回線エミュレーション (CEM) 回線について：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 名前、タイプ、作成日などの詳細</li> <li>• 統計情報 (回線のエンドポイントの統計情報を切り替えることができます)</li> <li>• 伝送中に失われたパケットの数</li> <li>• 宛先に到着するまでに、ジッターバッファで順序変更されたパケットの数</li> <li>• ジッターバッファのオーバーランとアンダーランの数</li> <li>• 順序が正しくないパケット、および後続がドロップされたパケットの数</li> <li>• 不正なパケットの数</li> <li>• エラー、重大なエラー、または利用不可であった秒数</li> <li>• 失敗したイベント</li> <li>• 生成および受信された明示的なポイント調整リレー カウンタ (LビットとPビットなど) の数をグラフ化するダッシュレット</li> </ul> <p>(注) これらのダッシュレットを表示するには、CEMと疑似回線エミュレーション (エッジ間) の両方のモニタリングポリシーを有効にする必要があります。<a href="#">モニタリングポリシー リファレンス</a>を参照してください。</p>
[TE トンネル (TE Tunnel) ]	<p>選択したトラフィックエンジニアリング (TE) トンネル回線について：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 名前、サービスを行える状態か、関連付けられたエンドポイントなどの詳細</li> <li>• サービス統計情報</li> <li>• 発信トラフィック、帯域幅使用率、および予約帯域幅</li> <li>• サービスの可用性</li> </ul>



ダッシュボードタブ	提供される情報
[CE/L3VPN]	<p>選択した回線または VC について：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 名前、検出の状態、最終変更時刻などの詳細</li> <li>• 次のパラメータの値が最も高い回線および VC を一覧表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• エンドポイント間の平均のトラフィック</li> <li>• QoS クラストラフィックおよびドロップ</li> </ul> </li> </ul> <p>(注) インバウンドデータとアウトバウンドデータを切り替えることができます。[上位NのサービスQoS クラストラフィック (Top N Service QoS Class Traffic) ]ダッシュレットで、ポリシー前データとポリシー後データを切り替えることもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 着信および発信 QoS ドロップ</li> <li>• サービストラフィックおよび可用性</li> <li>• 双方向遅延、一方向ジッター、およびサービス損失</li> <li>• EVC 用の IPSLA ダッシュボードまたは L3VPN サービス用の Y.1731 ダッシュボードをクロス起動できるサービスプロンプのエンドツーエンドパフォーマンス統計。</li> </ul>
[上位CE/L3VPN (Top CE/L3VPN) ]	<p>次のパラメータの値が最も高い回線および VC を一覧表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 遅延</li> <li>• ジッター</li> <li>• サービス損失</li> <li>• トラフィック (インバウンドとアウトバウンドの両方)</li> </ul> <p>CE と L3VPN サービスの情報を切り替えることができます。</p>

次の点に注意してください。

- インターフェイスモニタリングは、デフォルトで有効になりません。このチェック方法については、[Cisco EPN Manager によるモニタリング対象のチェック](#)を参照してください。
- ダッシュボードタブのコンテンツとレイアウトをカスタマイズする方法については、「[ダッシュボードタブのカスタマイズ](#)」を参照してください。

## [パフォーマンス (Performance) ]ダッシュボードの概要

[パフォーマンス (Performance) ]ダッシュボードでは、インターフェイス、QoS ポリシー、ITU-T Y.1731 プロブなどのネットワーク コンポーネントに関するパフォーマンス測定指標の概要を確認できます。このダッシュボードを開くには、次の表で説明するタブの **[ダッシュボード (Dashboard) ]> [パフォーマンス (Performance) ]>** を選択します。

ダッシュボードタブ	提供される情報
[インターフェイス (Interfaces) ]	<p>選択したインターフェイスについて、次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 名前、配置されたデバイスの IP アドレス、設定速度などの詳細</li> <li>• 次のパフォーマンス メトリックの平均値、最小値、最大値（インバウンドデータとアウトバウンドデータについて収集されたメトリック間を切り替えることができます）。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• トラフィック</li> <li>• 使用率</li> <li>• エラー</li> <li>• 破棄</li> <li>• 巡回冗長検査 (CRC) エラー <p>(注) CRC エラーデータはデフォルトではポーリングされません。このデータの収集を有効にするには、インターフェイスヘルスマニタリングポリシーのCRCパラメータのポーリング頻度を選択します（「<a href="#">Change the Polling for a Monitoring Policy</a>」を参照してください）。</p> </li> </ul> </li> <li>• [インターフェイスの統計情報 (Interface Statistics) ]ダッシュレットにリストされているパフォーマンスメトリックをグラフ化する個々のグラフ</li> <li>• インターフェイスの可用性</li> <li>• 上位 N 個の QoS クラス マップ ポリシーのグラフ（インバウンドおよびアウトバウンドのポリシー前レート、ポリシー後レート、およびドロップ率）</li> <li>• QoS クラス マップ ポリシー統計（インバウンドとアウトバウンド）</li> </ul>

ダッシュボードタブ	提供される情報
[QoS]	選択した QoS ポリシーについて、次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 要約情報</li><li>• ポリシー前、ポリシー後、および破棄されたクラスマップトラフィックに関する統計とグラフ</li><li>• 適合クラスマップトラフィック、超過クラスマップトラフィック、および違反クラスマップトラフィックに関する統計とグラフ</li></ul>
[IP SLA]	選択したプローブ上のレイヤ 3 サービスについて、次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 要約情報</li><li>• IP サービス レベル契約 (SLA) の統計</li><li>• エンドポイント間の遅延、ジッター、およびフレーム損失</li><li>• エンドポイントの可用性</li></ul>
[Y1731]	選択したプローブ上のレイヤ 2 サービスについて、次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 要約情報</li><li>• ITU-T Y.1731 の統計</li><li>• エンドポイント間の遅延、ジッター、およびフレーム損失</li><li>• エンドポイントの可用性</li></ul>

ダッシュボードタブ	提供される情報
[BNG の統計 (BNG Statistics) ]	<p>選択したデバイスに関する次のブロードバンドネットワーク ゲートウェイ (BNG) 情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 名前、IP アドレス、製品タイプ、ソフトウェアバージョンなどの詳細</li> <li>• 設定された IP プールの名前と、各プールで使用されるアドレスの数と割合</li> <li>• 選択された IP プールの使用済みアドレスまたは空きアドレスの数をグラフ化したチャート</li> <li>• ラインカードとセッションタイプ別の認証済みサブスクライバとアップサブスクライバのセッション数をグラフ化したチャート</li> </ul> <p>次の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• チャートの下のチェックボックスを使用して、情報を表示する項目を選択します</li> <li>• グラフ上の任意のポイントにカーソルを移動すると、その特定の時刻の選択した項目の値が表示されます</li> </ul>

ダッシュボードタブ	提供される情報
[ME1200 QoS]	<p>Cisco ME 1200 デバイス上で選択したサービスに関する次の Quality of Service (QoS) 情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• デバイスの名前などの詳細、このデバイスと関連付けられている顧客、そのユーザ ネットワーク インターフェイス (UNI) ポート。</li><li>• 緑色 (適合) トラフィック、黄色 (超過) トラフィック、赤色 (違反) トラフィック、および廃棄トラフィックの平均ビット レートと平均フレーム レート。インバウンドトラフィック データとアウトバウンドトラフィック データを切り替えることができます。</li><li>• [ME1200 QoSの統計情報 (ME1200 QoS Statistics) ]ダッシュレットに表示されたトラフィック タイプで測定されるトラフィックをグラフ化したグラフ。</li></ul> <p>次の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 5つのトラフィック グラフが提供されます。トラフィック タイプごとに1つのグラフと1つの統合グラフ。</li><li>• フレーム レート (1秒あたりのフレーム数) またはビット レート (1秒あたりのキロビット数) でデータ表示を切り替えることができます。</li><li>• このチャートの下にある適切なチェックボックスを選択すると、グラフに表示される要素を指定できます。統合されたトラフィック ダッシュレットでは、トラフィック タイプを指定できます。個々のトラフィック ダッシュレットでは、サービスに関連付けられた1つまたは複数の EVC 制御エントリ (ECE) を指定できます。</li></ul>

ダッシュボードタブ	提供される情報
[光 SFP (Optical SFPs) ]	<p>選択された Small Form-Factor Pluggable (SFP) トランシーバモジュール インターフェイスの場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 名前、インターフェイスが配置されているデバイスの名前と IP アドレス、設定速度などの詳細</li> <li>• 次の操作メトリックの平均値、最小値、最大値。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 光入出力電力</li> <li>• 動作温度</li> <li>• トランシーバ供給電圧</li> <li>• レーザー バイアス電流</li> </ul> </li> <li>• [SFPの統計情報 (SFP Statistics) ] ダッシュレットにリストされている操作メトリックをグラフ化する個々のグラフ</li> </ul>
[SONET/TDM]	<p>選択した SONET または 時分割多重 (TDM) インターフェイス用。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• その名前、設定速度、格納先のデバイスの IP アドレスなどの詳細</li> <li>• 次のパフォーマンス メトリックの平均値、最小値、最大値。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• エラー秒数</li> <li>• 重大エラー秒数</li> <li>• C ビットの重大エラー秒数</li> <li>• P ビットの重大エラー秒数</li> <li>• 使用不可秒数</li> </ul> </li> </ul> <p>インターフェイスの近端 (受信側) と遠端 (送信側) の両方の値が提供されます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [SONET/TDMの統計情報 (SONET/TDM Statistics) ] ダッシュレットにリストされているパフォーマンスメトリックをグラフ化する個々のグラフ</li> </ul>

ダッシュボードタブ	提供される情報
[デバイス センサー (Device Sensors)]	<p>選択したデバイスに配置されたセンサーの場合、その名前、収集された情報のタイプ (温度や電圧など)、対応する測定単位、最後のデバイス ポーリング時に記録された値などの詳細。</p> <p>(注) センサーデータはデフォルトではポーリングされません。このデータの収集を有効にするには、[デバイスセンサー (Device Sensors)] ポリシータイプに基づいてモニタリングポリシーを作成します (「事前設定されたポリシータイプを使用した新規モニタリングポリシーの作成」を参照)。</p>

次の点に注意してください。

- インターフェイスモニタリングは、デフォルトで有効になりません。このチェック方法については、[Cisco EPN Manager によるモニタリング対象のチェック](#)を参照してください。
- ダッシュボードタブのコンテンツとレイアウトをカスタマイズする方法については、「[ダッシュボードタブのカスタマイズ](#)」を参照してください。

## [ネットワーク サマリー (Network Summary)] ダッシュボードの概要

[ネットワーク サマリー (Network Summary)] ダッシュボードは、ネットワークに現在影響を与えている最も重要な問題を警告します。また、さまざまなソースからメトリックを収集して、重要業績評価指標 (KPI) のセットを表示します。このダッシュボードを開くには、次の表で説明するタブの **[ダッシュボード (Dashboard)] > [ネットワーク サマリー (Network Summary)] >** を選択します。

ダッシュボード タブ	提供される情報
[ネットワーク デバイス (Network Devices) ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ステータス (ICMP 到達可能性、SNMP 到達可能性、デバイス管理性)、システムヘルス、およびアラームの概要メトリック ダッシュレット 次の点に注意してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• メトリック ダッシュレットによって提供される情報を説明しているポップアップウィンドウを開くには、その名前の上にカーソルを移動してから、[?] アイコンをクリックします。</li> <li>• 特定のメトリックに対応するアラームやデバイスを一覧表示するページを開くには、ダッシュレット値をクリックします。たとえば、[SNMP到達可能性ステータス (SNMP Reachability Status) ]ダッシュレットが現在 50 デバイスは SNMP 経由で到達可能であることを示す場合、[50] をクリックして [ネットワークデバイス (Network Devices) ] ページを開き、これらのデバイスのリストを表示します。</li> </ul> </li> <li>• CPU 使用率、メモリ使用率、および環境温度別の上位 N 個のデバイス [ トップNの環境温度 (Top N Environmental Temperature) ] ダッシュレットの場合、次に注意してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 各デバイスについて、最高記録内部温度 ([ 取り入れ口最高温度 (Max Inlet Temp) ] 列に表示) と最高記録周囲温度 ([ その他の最高温度 (Max Other Temp) ] に表示) の 2 つの温度値が表示されます。デフォルトでは、デバイスはその内部の温度で並べ替えられます。</li> <li>• 特定の温度値を記録するセンサーを識別するには、その <i>i</i> ([ 情報 (information) ] ) アイコンにカーソルを合わせます。</li> </ul> </li> <li>• ネットワーク トポロジ</li> </ul>



ダッシュボード タブ	提供される情報
[インシデント (Incidents) ]	<ul style="list-style-type: none"><li>システムヘルスダッシュレットとアラーム概要メトリックダッシュレット</li></ul> <p>次の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>メトリックダッシュレットによって提供される情報を説明しているポップアップウィンドウを開くには、その名前の上にカーソルを移動してから、[?] アイコンをクリックします。</li><li>特定のメトリックに対応するアラームを一覧表示するページを開くには、ダッシュレット値をクリックします。たとえば、[アラーム概要 (Alarm Summary) ]ダッシュレットがネットワークで12の重要なアラームが発生したことを示す場合、[12] をクリックして [アラーム (Alarms) ] ページを開き、これらのアラームのリストを表示します。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>ネットワーク全体と Cisco EPN Manager サーバのアラーム カウント</li><li>上位 N 個のアラーム タイプ</li><li>Syslog の概要</li><li>上位 N 個のイベント タイプとそれらのカウント</li><li>送信された syslog の数別の上位 N 個のデバイス</li><li>対応するデバイス、重大度、メッセージテキストなどの syslog の詳細</li><li>発生したアラームの数別の上位 N 個のデバイス</li></ul>

ダッシュボード タブ	提供される情報
[上位 N 個のインターフェイス (Top N Interfaces) ]	<p>選択されたポート グループについて、次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• インターフェイスの可用性と使用率の概要</li> <li>• インターフェイストラフィック、エラーと破棄、巡回冗長検査 (CRC) エラー、および利用率による上位 N 個のデバイス</li> </ul> <p>次の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CRC エラー データはデフォルトではポーリングされません。このデータの収集を有効にするには、インターフェイス ヘルス モニタリング ポリシーの CRC パラメータのポーリング頻度を選択します (「<a href="#">Change the Polling for a Monitoring Policy</a>」を参照してください)。</li> <li>• 現在のリリースの制限により、インターフェイス ヘルス モニタリング ポリシーは、[ポートグループ (Port Groups) ] ドロップダウンリストから選択したポートグループに関連付けられているインターフェイスだけでなく、ネットワーク内のすべてのインターフェイスで CRC エラー データをポーリングします。[上位NのインターフェイスCRCエラー (Top N Interface CRC Errors) ] ダッシュレットによって提供されるデータを表示するときは、この点に留意してください。</li> <li>• インターフェイス可用性別の下位 N 個のデバイス</li> </ul> <p>またこのタブのダッシュレット (概要ダッシュレットを除く) では、その <i>[i]</i> ([情報 (information) ]) アイコンをクリックすることで、デバイスの隣接するデバイスまたはインターフェイスの 360 度ビューを開くことに留意してください。</p>
[上位 N 個の QoS (Top N QoS) ]	<p>選択されたポート グループについて、次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• QoS ポリシー前、ポリシー後、およびドロップ レート別の上位 N 個のデバイス</li> <li>• 適合トラフィック レート、超過トラフィック レート、および違反トラフィック レート別の上位 N 個のデバイス</li> </ul> <p>インバウンドトラフィック データとアウトバウンドトラフィック データを切り替えることができます。</p>

ダッシュボード タブ	提供される情報
[トップN 1731 (Top N 1731) ]	次のパラメータの値が最も高いエンドポイントが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 遅延 (一方向および双方向)</li> <li>• ジッター (一方向)</li> <li>• フレーム損失</li> </ul>
[トップN MPLS リンク遅延 (Top N MPLS Links Delay) ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 遅延 (一方向および双方向)</li> </ul>

[上位N個のインターフェイス (Top N Interfaces) ]と [上位N個のQoS (Top N QoS) ]タブで次のことができます。

- 特定のデバイスグループおよび/またはポートグループを選択し、これらのデバイス/ポートの情報のみを表示します。
  - ポート/デバイスグループに基づいてすべてのダッシュレットのデータをフィルタ処理するには、ダッシュボードの上部の [ポートグループ (Port Groups) ] フィルタを使用します。
  - 特定のダッシュレットのデータのみをフィルタ処理するには、ダッシュレットの [編集 (Edit) ] アイコンをクリックして、 [ポートグループ (Port Groups) ] または [デバイスグループ (Device Groups) ] ドロップダウンリストからデバイスまたはポートのグループを選択します。
- クラスマップでダッシュレットのデータをフィルタ処理します (デフォルトのクラスを除外することができます)。
- インターフェイスの名前リンクをクリックして、そのインターフェイスのパフォーマンスに関する情報を [パフォーマンス (Performance) ] ダッシュボードに表示します。 [上位 N 個のインターフェイス (Top N Interfaces) ] タブでリンクをクリックすると、 [インターフェイス (Interfaces) ] タブが開きます。 [上位 N 個の QoS (Top N QoS) ] タブでリンクをクリックすると、 [QoS] タブが開きます。
- インターフェイスモニタリングは、デフォルトで有効になりません。このチェック方法については、 [Cisco EPN Manager によるモニタリング対象のチェック](#) を参照してください。
- ダッシュボードタブのコンテンツとレイアウトをカスタマイズする方法については、「[ダッシュボードタブのカスタマイズ](#)」を参照してください。

## [ケーブル (Cable)] ダッシュボードの概要

[ケーブル (Cable)] ダッシュボードには、Cisco cBR-8 デバイスのネットワークに現在影響している重要な問題を含む、ケーブル ネットワークに関する主要な概要が表示されます。このダッシュボードを開くには、**[ダッシュボード (Dashboard)] > [ケーブル (Cable)] > [cBR-8 ダッシュボード (cBR-8 Dashboard)]** を選択します。

[ケーブル (Cable)] ダッシュボードにはケーブル ネットワークの概要と詳細の両方が提供されるため、表示された情報を絞り込めるようにフィルタ条件が用意されています。

- ロケーションまたは機能に基づいて情報をフィルタリングします。ロケーションの選択では、複数のデバイスが割り当てられているグループまたはロケーションを指定できます。
- 特定の Cisco cBR-8 デバイスに関連付けられた情報をフィルタリングします。
- 上記のフィルタとは別に、インタラクティブなダッシュレットで、必要に応じてデータをさらに絞り込むことができます。
  - テーブルに示される情報を絞り込むには、2つの方法があります。1つ目はフィルタを作成して適用することです。2つ目は、特定のグラフ要素をクリックすることです。たとえば、**[cBR-8ダッシュボード (cBR-8 Dashboard)]** タブの**[ソフトウェアバージョン (Software Version)]** バー グラフで Cisco IOS XE バージョンに対応するバーをクリックすると、**[ソフトウェアバージョンの詳細 (Software Version Details)]** テーブルにはそのバージョンに固有の情報だけが表示されます。
  - タブ内で適用されるフィルタは、タブ内のすべてのダッシュレットに適用できます。たとえば、**[ケーブルモデム (Cable Modem)]** タブで、特定の Cisco cBR-8 デバイスをフィルタリングすると、すべてのダッシュレット (**[ベンダー別モデム数 (Modem Count by Vendors)]** や **[機能別モデム数 (Modem Count by Capability)]** など) にフィルタリングされた Cisco cBR-8 デバイスのみに関連付けられた情報が表示されます。

これらのタブに表示される情報は定期的に更新され、ケーブル ポリシーを介して設定できます。テーブル行に表示される詳細を .csv ファイルとしてエクスポートするには、**[エクスポート (Export)]** ボタンを使用します。

### 始める前に

ネットワーク内の Cisco cBR-8 ルータの情報を収集してレポートするには、**[ケーブルポリシー (Cable Policies)]** が **[モニタリングポリシー (Monitoring Policies)]** ページ (**[モニター (Monitor)] > [モニタリングツール (Monitoring Tools)] > [モニタリングポリシー (Monitoring Policies)] > [ポリシー (Policies)]** ペイン) に表示され、現在アクティブであり、そのパラメータのポーリング間隔が設定されていることを確認します。ケーブル モニタリング ポリシーをアクティブ化するには、[モニタリングポリシーのしきい値およびアラーム動作の変更](#)を参照してください。

ダッシュボード タブ	提供される情報
[cBR-8 ダッシュボード (cBR-8 Dashboard) ]	<p>ネットワーク内の Cisco Converged Broadband Router-8 (cBR-8) ルータの次のメトリックをグラフ化したインタラクティブ グラフを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ソフトウェアバージョン (Software Version) ]: さまざまな Cisco IOS XE バージョンを実行しているルータ (Cisco cBR-8 デバイス) の数を示します。</li> <li>• [ライセンスの使用状況 (License usage) ]: 選択したルータに適用されるライセンス タイプの数を示します。</li> <li>• [ライセンスの状態 (License state) ]: 登録済みまたは未登録のライセンスを持つルータの数を示します。</li> <li>• [高可用性 (HA) (High availability (HA)) ]: ステートフルスイッチオーバー (SSO) が設定されたルータの数を示します。</li> <li>• [リモート物理デバイス (Remote physical device) ]: 現在オンラインの RPD、オフラインの RPD、Cisco cBR-8 デバイスで初期化されている RPD、「定義済み」状態の RPD、または展開が保留中の RPD の数を示します。</li> </ul> <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ダッシュボードのデバイス統計情報は、Cisco cBR-8 デバイスに関連付けられた RPD にのみ使用できます。</li> <li>• [ケーブル (Cable) ]ダッシュボードに表示される RPD ポーリング情報は、ユーザがプロパティ ファイルを編集して動的に変更できます。詳細については、<a href="#">RPD ポーリング</a>を参照してください。</li> <li>• [スーパーバイザFPGAバージョン (Supervisor FPGA Versions) ]: 現在使用中のフィールドプログラマブル ゲート アレイ (FPGA) をタイプとバージョン別に分類して示します。</li> </ul> <p>これらのメトリックのいずれかに関する追加情報を提供するテーブルを表示するには、メトリックにカーソルを置き、表示される結果ボックス内の任意の場所をクリックします。たとえば、[ハイアベイラビリティの詳細 (High Availability Details) ]テーブルを開くと、Cisco cBR-8 ルータの名前や IP アドレス、稼働時間、関連するアクティブ HA サーバおよびスタンバイ HA サーバの位置などの情報が示されます。</p> <p>また、デバイスの詳細列に表示された関連する [i] (情報) アイコンをクリックして、デバイスの <b>360</b> ビュー ([デバイス360 (Device 360) ]、[RPD 360]、および [インターフェイス360 (Interface 360) ]) を開くこともできます。</p>

## ■ [ケーブル (Cable) ] ダッシュボードの概要

ダッシュボード タブ	提供される情報
[ケーブルア ラーム (Cable Alarm) ]	

ダッシュボード タブ	提供される情報
	<p>ネットワーク内の Cisco cBR-8 ルータで発生したアラームのインタラクティブなグラフを使用すると、アラームダッシュボードには次のような各種統計が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [アラーム重大度 (Alarm Severity) ] : さまざまな重大度レベル (クリティカル、メジャー、マイナー、警告、およびクリア済み) が指定されたアラームの数を示します。</li> <li>• [アラームカテゴリ (Alarm Category) ] : 特定のアラームカテゴリ (CMTS システム、CMTS サブスクリイバ、ブロードバンドケーブルなど) にあるアラームの数を示します。</li> <li>• [デバイスのグループロケーション (Group Location of Devices) ] : 特定のグループに属するデバイスで発生したアラームの数を示します。</li> <li>• [cBR-8名 (cBR-8 Name) ] : 特定の cBR-8 デバイスで発生したグループアラーム。</li> </ul> <p>アラームをフィルタリングすると、アラーム ID、障害原因、アラームの発生時刻、アラーム プロトコル カテゴリ、条件、アラームがサービスに影響するかどうかなど、アラームの詳細を表示できます。アラームの詳細については、アラーム ID ハイパーリンクを使用して [アラームとイベント (Alarms and Events) ] ページに移動します。</p> <p>さまざまなフィルタとは別に、アラームヒートマップには、地理的に異なる場所および cBR-8 デバイスのアラームの包括的な数が表示されます。データは定期的に更新されますが、グループのロケーション、デバイス、またはアラーム重大度の選択に基づいても更新されます。</p> <p>特定のハードウェア アラームが発生した場合、ユーザは次の手順を実行して、[アラームおよびイベント (Alarms and Events) ] ページから関連する cBR-8 プラットフォームのシャーシ ビューに移動できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [アラームおよびイベント (Alarms and Events) ] ページの [障害の原因 (Failure Source) ] 列で、関連するイベントの横にある [i] アイコンをクリックして [デバイス360 (Device 360) ] ページを開きます。</li> <li>2. [デバイス360 (Device 360) ] ページで [表示 (View) ] &gt; [シャーシビュー (Chassis View) ] をクリックして、選択した cBR-8 デバイスのシャーシビューを開きます。cBR-8 プラットフォーム内の障害が発生したモジュールは、シャーシビューでハイライト表示されます。</li> </ol> <p>(注) cBR-8 デバイスのユーザが調査できるアラーム条件の例を次に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• cefcFruRemoved (電源装置やファンが取り外された場合)</li> <li>• cefcPowerStatusChange (電源装置に障害が発生した場合)</li> </ul>

## [デバイストレンド (Device Trends) ] ダッシュボードの概要

ダッシュボードタブ	提供される情報
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• cefcFanStatusChange (ファンに障害が発生した場合)</li> </ul>
[ケーブル モデム (Cable Modem) ]	<p>ネットワーク内の Cisco cBR-8 ルータに関連付けられたケーブル モデムの次のメトリックをグラフ化したインタラクティブ グラフを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ケーブルモデム (Cable Modem) ] : 使用可能なモデムの合計数と操作状態 (オンライン、オフライン、初期化中など) を示します。</li> <li>• [ベンダー別モデム数 (Modem count by vendors) ] : ケーブル モデムの MAC アドレスを対応するベンダー名とベンダー数にマッピングすることにより、さまざまなベンダー (シスコ、Arris など) のオンラインまたはオフラインのケーブル モデムの総数を示します。</li> <li>• [機能別モデム数 (Modem Count by Capability) ] : さまざまな DOCSIS バージョン (DOCSIS 2.0 や DOCSIS 3.1 など) に対応したオンラインまたはオフラインのケーブル モデムの総数を示します。</li> </ul> <p>(注) フィルタオプションですべて (デバイス) を選択すると、ケーブル モデムに関連付けられているデバイスのみがフィルタリングされます。ダッシュレットには、ケーブル モデムが関連付けられていないケーブル デバイスに関する情報は表示されません。</p>

ダッシュボードタブのコンテンツとレイアウトをカスタマイズする方法については、「[ダッシュボードタブのカスタマイズ](#)」を参照してください。

## [デバイストレンド (Device Trends) ] ダッシュボードの概要

[デバイストレンド (Device Trends) ]ダッシュボードでは、特定のデバイス、アプリケーション、またはサービスのパフォーマンス情報を表示できます。このダッシュボードを開くには、次の表で説明するタブの [ダッシュボード (Dashboard) ] > [デバイストレンド (Device Trends) ] > を選択します。

ダッシュボードタブ	提供される情報
[デバイス (Device) ]	<p>デバイスを選択した場合 :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CPU 使用率とメモリ使用率</li> <li>• ヘルス情報</li> <li>• ポート サマリー</li> </ul>



ダッシュボードタブ	提供される情報
[アプリケーション (Application)]	<p>アプリケーションまたはサービスを選択した場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• トラフィック レートとボリューム</li> <li>• トラフィック レートとボリューム別の上位N個のクライアント、サーバ、およびアプリケーション</li> </ul>

次の点に注意してください。

- インターフェイスモニタリングは、デフォルトで有効になりません。このチェック方法については、[Cisco EPN Manager によるモニタリング対象のチェック](#)を参照してください。
- ダッシュボードタブのコンテンツとレイアウトをカスタマイズする方法については、「[ダッシュボードタブのカスタマイズ](#)」を参照してください。

## [DWDM/OTNパフォーマンス (DWDM/OTN Performance)] ダッシュボードの概要

[DWDM/OTNパフォーマンス (DWDM/OTN Performance)] ダッシュボードは、特定の回線を通じて横断的に使用される高密度波長分割多重 (DWDM) インターフェイスおよび光トランスポート ネットワーク (OTN) インターフェイスのパフォーマンスに関する情報を表示します。これには、物理、光データユニット (ODU)、光トランスポートユニット (OTU)、イーサネット、同期光ネットワーク (SONET)、同期デジタル階層 (SDH) のインターフェイスが含まれています。パフォーマンス情報は、インターフェイスタイプごとに異なるタブに表示されます。

このダッシュボードを開くには、次のいずれかを実行します。

- **[ダッシュボード (Dashboard)] > [DWDM/OTNパフォーマンス (DWDM/OTN Performance)] > [回線 (Circuit)]** を選択します。[インターフェイス (Interfaces)] ダッシュレットでインターフェイス名をクリックします。インターフェイスのタイプに関連するタブが開きます。たとえば、OTU インターフェイスをクリックすると [OTU] タブが開きます。
- インターフェイスの360ビューで、**[ビュー (View)] > [パフォーマンス (Performance)]** を選択します。

次の点に注意してください。

- インターフェイスモニタリングは、デフォルトで有効になりません。このチェック方法については、[Cisco EPN Manager によるモニタリング対象のチェック](#)を参照してください。
- ダッシュボードタブのコンテンツとレイアウトをカスタマイズする方法については、「[ダッシュボードタブのカスタマイズ](#)」を参照してください。

## ダッシュボードの使用方法

次の図に、ダッシュボードウィンドウの主要な部分とそれらの調整に使用可能なコントロールを示します。

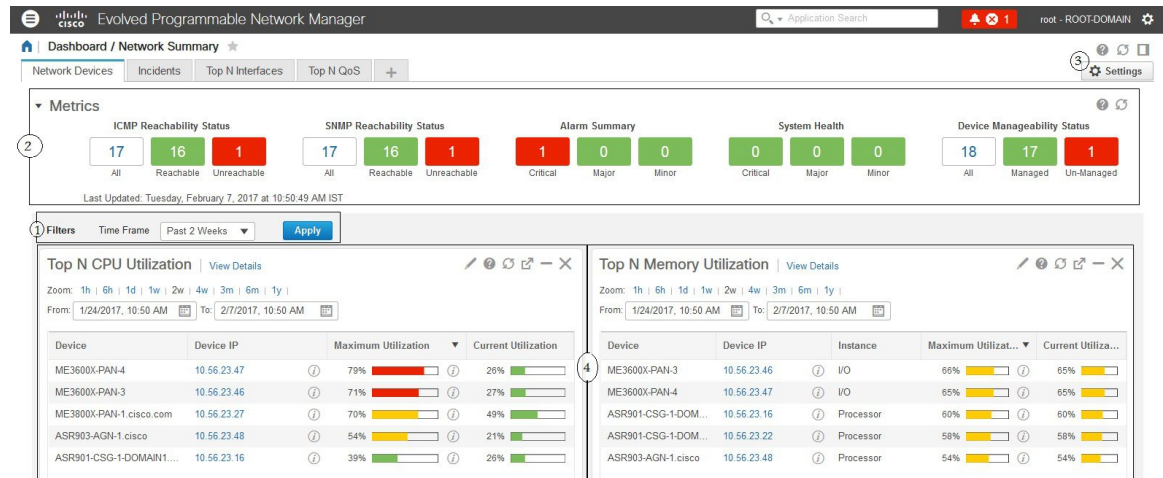
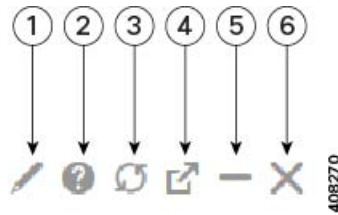


表 2: ダッシュボード要素

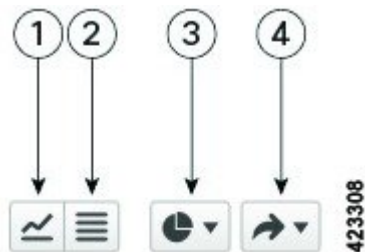
1	<p>ダッシュボードフィルタ：選択に基づいてダッシュボード内のすべてのダッシュレットをフィルタ処理します。この例では、時間ベースのフィルタが使用されています。表示されるフィルタは、ダッシュボードタイプによって異なります。たとえば、パフォーマンスダッシュボードでは、特定のインターフェイス、デバイス、回線、またはVCを選択する必要があります。</p>
2	<p>メトリックダッシュレット：アラームや使用可能なデバイスなどのクイックメトリックを提供します。</p>
3	<p>ダッシュボードの設定とコントロール：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダッシュボードアイコン：オンラインヘルプを起動したり、ダッシュボード全体を更新したり、[ドッキング (Dock)] ウィンドウを開いたりできます。</li> <li>[ダッシュボード設定 (Dashboard Settings)] メニュー：ダッシュボードタブを追加または名前変更したり、新しいダッシュレット (標準とメトリックの両方) を追加したり、ダッシュボードのレイアウトを調整したり、すべてのダッシュボードをデフォルト設定にリセットしたり、選択したダッシュレットからデータをエクスポートしたりできます。</li> </ul> <p>(注) 新しく追加されたダッシュボードタブまたは名前を変更されたダッシュボードタブは、[タブ (Tab)] ビューにのみ表示できます。この変更はダッシュボードメニューには反映されません。</p>
4	<p>標準ダッシュレット：ダッシュボードに関連する概要データを示します。</p>

各ダッシュレットの右上に、そのダッシュレットが使用されたときにアクティブになるアイコンがあります。ダッシュレットタイプによって、使用可能なアイコンが決定されます。最も一般的なアイコンを次の図に示します。



1	[編集 (Edit) ]アイコン：クリックしてタイトル、更新間隔、表示されるデバイス数などのダッシュレットのプロパティを変更します（上位 N 件および下位 N 件のダッシュレットにのみ適用）。
2	[ヘルプ (Help) ]アイコン：ダッシュレットの説明が記載されたポップアップ ウィンドウ、ダッシュレットでデータを収集するためにアクティブにする必要のあるモニタリングポリシーを示すポップアップウィンドウ、およびダッシュレットに適用可能なフィルタが一覧表示されたポップアップ ウィンドウを開く場合にクリックします。
3	[更新 (更新) ]アイコン：ダッシュレットに表示された情報を更新する場合にクリックします。
4	[切り離し (Detach) ]アイコン：ダッシュレットをダッシュボード内の別の場所に移動する場合にクリックします。
5	[折りたたみ/展開 (Collapse/Expand) ]アイコン：最大化されたダッシュレットと最小化されたダッシュレットを切り替える場合にクリックします。
6	[閉じる (Close) ]アイコン：ダッシュボードからダッシュレットを削除する場合にクリックします。

チャートを提供するダッシュレットの右下隅に、次の図で強調表示されているボタンがあります。使用可能なボタンはダッシュレット間で異なります。



1	[チャートビュー (Chart View) ]ボタン：クリックすると、ダッシュレットの情報がチャートとして表示されます。
2	[テーブルビュー (Table View) ]ボタン：クリックすると、ダッシュレットの情報がテーブルとして表示されます。

3	[チャートタイプ (Chart Type) ] ボタン: クリックして、ダッシュレットが表示するチャートのタイプ (バー、円グラフなど) と設定する任意のオプション (各要素に固有の塗りつぶしのパターンを表示するなど) を選択します。
4	[アクション (Actions) ] ボタン: クリックして、ダッシュレットが提供する情報を印刷するか、.csv または .pdf 形式のファイルに情報をエクスポートします。

ダッシュボードの追加情報については、次のトピックを参照してください。

- [ダッシュボードのタイプ \(7 ページ\)](#)
- [ダッシュボードへのダッシュレットの追加 \(29 ページ\)](#)
- [新しいダッシュボードの追加 \(28 ページ\)](#)
- [ダッシュボードのデータが不足している理由の特定](#)

## 新しいダッシュボードの追加

新しいダッシュボードを作成するには、次の手順を実行します。新しいダッシュボードは、[ダッシュボードのタイプ \(7 ページ\)](#) にリストされているダッシュボードの 1 つに、新しいタブとして表示されます。

**ステップ 1** 関連する既存のダッシュボードを開きます。

たとえば、[パフォーマンス (Performance) ] ダッシュボードに新しいタブを作成するには、[ダッシュボード (Dashboard) ] > [パフォーマンス (Performance) ] にあるいずれかのタブをクリックします。

**ステップ 2** [+] ([新しいダッシュボードの追加 (Add New Dashboard) ]) タブをクリックします。

[設定 (Settings) ] メニューが開きます。

**ステップ 3** 新しいダッシュボードの名前を入力し、[適用 (Apply) ] をクリックします。

**ステップ 4** 新しいダッシュボードタブをクリックし、[事前定義のダッシュレットをダッシュボードに追加する \(29 ページ\)](#) の説明に従ってダッシュレットを追加します。

## ダッシュボードタブのカスタマイズ

Cisco EPN Manager に表示されるダッシュボードのタブをカスタマイズするには、次の手順に従います。

**ステップ 1** [ダッシュボード (Dashboard) ] > を選択し、カスタマイズするダッシュボードタブを選択します。

たとえば、[パフォーマンス (Performance) ] ダッシュボードの [BNG] タブをカスタマイズする場合は、[ダッシュボード (Dashboard) ] > [パフォーマンス (Performance) ] > [BNG] の順に選択します。

**ステップ 2** 必要に応じて、ダッシュボードのタブを調整します。

次のように調整できます。

- ダッシュレットをダッシュボード上の別の場所にドラッグします。
- タブの [設定 (Settings) ] メニューから該当する項目を選択し、タブの名前の変更、新規ダッシュレットの追加 (「[ダッシュボードへのダッシュレットの追加](#)」を参照)、タブのレイアウトの変更を行います。

新しく追加されたダッシュボードタブまたは名前を変更されたダッシュボードタブは、[タブ (Tab) ] ビューにのみ表示されます。この変更はダッシュボードメニューには反映されません。

(注) 追加しようと考えているダッシュレットの概要を説明するポップアップウィンドウを開くには、[ダッシュレットの追加 (Add Dashlets) ] ドロップダウンリストを展開し、目的のダッシュレットを見つけて、その名前の上にカーソルを重ねます。

- フィルタを使用して表示する情報と適切な時間枠を指定してから、[適用 (Apply) ] をクリックします。

**ステップ 3** タブにデータが表示されない場合は、トラブルシューティングを行います。

詳細については、「[ダッシュボードのデータが不足している理由の特定](#)」を参照してください。

## ダッシュボードへのダッシュレットの追加

ダッシュボードには、2つのタイプのダッシュレットを追加できます。

- Cisco EPN Manager で提供される事前パッケージダッシュレット：ダッシュレットの一部はデフォルトでダッシュボードに表示されます。他のダッシュレットは、[設定 (Settings) ] メニューにリストされ、必要に応じて追加できます。これらのダッシュレットにより、モニタする可能性の高い情報が提供されます (たとえば、デバイスのCPU使用率、インターフェイスのエラーと破棄、トラフィック統計情報)。[事前定義のダッシュレットをダッシュボードに追加する \(29 ページ\)](#) を参照してください。
- デバイスのパフォーマンスをモニタするために作成するカスタムダッシュレット：これらのダッシュレットタイプは、[デバイストレンド (Device Trends) ] ダッシュボードにのみ追加できます。「[\[デバイストレンド \(Device Trends\) \] ダッシュボードへのカスタマイズ済みダッシュレットの追加](#)」を参照してください。

### 事前定義のダッシュレットをダッシュボードに追加する

Cisco EPN Manager は、一般的に必要なネットワーク データを提供する、事前定義のダッシュレットのセットを提供します。デフォルトで、これらのダッシュレットのサブセットがすでにダッシュボードに含まれているため、すぐに使い始めることができます。これらの事前定義のダッシュレットとは別のダッシュレットをダッシュボードに追加するには、次の手順を実行します。



(注) ダッシュレットを編集または削除するには、その右上にある該当するアイコンをクリックします（「[ダッシュボードの使用方法](#)」を参照）。

**ステップ1** サイドバーメニューで、[ダッシュボード (Dashboard)] を選択してから、ダッシュレットを追加するダッシュボードを選択します。

たとえば、[デバイス メモリ使用率 (Device Memory Utilization)] ダッシュレットを [デバイストレンド (Device Trends)] ダッシュボードに追加するには、[ダッシュボード (Dashboard)] > [デバイストレンド (Device Trends)] > [デバイス (Device)] を選択します。

**ステップ2** 追加するダッシュレットを特定して追加します。

- ダッシュボードの右上で、[設定 (Settings)] をクリックしてから [ダッシュレットの追加 (Add Dashlets)] を選択します。Cisco EPN Manager にそのダッシュボードに追加可能なダッシュレットが一覧表示されます。
- 特定のダッシュレットの概要を示すポップアップ ウィンドウを開くには、そのダッシュレットの名前の左側にカーソルを移動します。次の図に示すように、ポップアップ ウィンドウには、ダッシュレットが提供するデータのソースと、ダッシュレットに適用可能なフィルタも表示されます。

Device	Device IP	Maximum Utilization	Current Utilization
C360E cisco.com	172.20.118.231	92%	8%
ASR_Sanby_Reg cisco.com	10.104.240.153	58%	13%
SAM-5-SJ-CE cisco.com	172.23.208.131	22%	22%
ASR_Sanby_Reg cisco.com	10.104.240.153	22%	22%
SAM-5-SJ-CE cisco.com	172.23.208.131	13%	9%

- [追加 (Add)] をクリックして、選択したダッシュレットをダッシュボードに追加します。

**ステップ3** ダッシュレットにデータが入力されていることを確認します。

そうでない場合は、必要なモニタリングポリシーが有効になっているかどうかをチェックします（デバイスヘルス モニタリング ポリシーだけがデフォルトで有効になります。これは、デバイス可用性、CPU とメモリ プールの使用率、および環境温度をチェックします）。

- ダッシュレットの右上で、その [?] ([ヘルプ (Help)]) アイコンをクリックして、ダッシュレットのポップアップ ウィンドウを開きます。
- [データ ソース (Data Sources)] 領域に表示された情報をチェックします。モニタリングポリシーが表示された場合は、そのポリシーがアクティブになっているかどうかをチェックします。[Cisco EPN Manager によるモニタリング対象のチェック](#)を参照してください。

## [デバイストレンド (Device Trends)] ダッシュボードへのカスタマイズ済みダッシュレットの追加

[デバイストレンド (Device Trends)] ダッシュボード内に、必要なデバイス パフォーマンス情報を提供するダッシュレットがない場合、カスタマイズしたテンプレートを使用するダッシュレットを追加して、デバイスに対してSNMP MIB属性をポーリングすることができます。このようなダッシュレットをダッシュボードに追加するには、次の手順に従います。

### 始める前に

使用可能なモニタリング ポリシーを調べて、必要な情報を収集するポリシーを判断します。ダッシュレットの作成時にポリシーを指定する必要があります。ニーズを満たすポリシーがない場合は、新しいパラメータをポーリングするポリシーを作成できます。[サポートされないパラメータとサードパーティ デバイスを対象としたモニタリング ポリシーの作成](#)を参照してください。

- ステップ 1 [ダッシュボード (Dashboard)] > [デバイストレンド (Device Trends)] > [デバイス (Device)] の順に選択します。
- ステップ 2 ダッシュボードの右上隅にある[設定 (Settings)] をクリックし、[ダッシュレットの追加 (Add Dashlets)] を選択します。
- ステップ 3 [デバイスダッシュレット (Device Dashlets)] リストを展開します。
- ステップ 4 [汎用ダッシュレット (Generic Dashlet)] を見つけて、[追加 (Add)] をクリックします。

Cisco EPN Manager により、空白の汎用ダッシュレットが [デバイストレンド (Device Trends)] ダッシュボードに追加されます。

Generic Dashlet

Dashlet Title: Generic Dashlet

Refresh Dashlet:

Refresh Interval: 30 minutes

Override Dashboard Time Filter:

Time Frame: Past 1 Hour

Type: Table

Policy Name: Select

Buttons: Reset, Save, Save And Close, Close

Policy not selected.

- ステップ 5 必要に応じて新しいダッシュレットを設定します。少なくとも、次の設定を行う必要があります。

- [ダッシュレットタイトル (Dashlet Title)] フィールドに、わかりやすいタイトルを入力します。

## [ドック (Dock) ]ウィンドウのカスタマイズ

- ダッシュボード内のすべてのダッシュレットに時間フィルタを適用しない場合は、[ダッシュボードの時間フィルタをオーバーライドする (Override Dashboard Time Filter) ]チェックボックスをオンにします。
- [タイプ (Type) ] ドロップダウンリストで、ダッシュレットのデータを表または線グラフのどちらで表示するかを選択します。(どちらを選択するかに関わらず、Cisco EPN Manager では、ダッシュレットの下部に、表示形式を変更するためのトグルが表示されます)。
- [ポリシー名 (Policy Name) ] ドロップダウンリストから、このダッシュレットのデータを収集するモニタリング ポリシーを選択します。使用可能なモニタリング ポリシーについては、[モニタリング ポリシー リファレンス](#)を参照してください。

**ステップ 6** [保存して閉じる (Save and Close) ] をクリックします。

データがダッシュレットに表示されない場合は、「[ダッシュボードのデータが不足している理由の特定](#)」を参照してください。

## [ドック (Dock) ]ウィンドウのカスタマイズ

[ドック (Dock) ] ウィンドウを使用すると、頻繁に使用する Web GUI ページやポップアップウィンドウ (特定のデバイスの 360 度ビューなど) に素早く移動できます。このウィンドウでは、最近アクセスした 15 のページへのリンクと Cisco EPN Manager トレーニング資料へのリンクにもアクセスできます。このウィンドウを開くには、(ページの右上の領域にある) [ドック (Dock) ] アイコンをクリックします。

[ドック (Dock) ] ウィンドウに表示されるリンクを更新するには、次の手順に従います。

**ステップ 1** Web GUI ページのリンクを [お気に入り (Favorites) ] タブ ([ドック (Dock) ] アイコン > [アクセスしたリンク (Links Visited) ] > [お気に入り (Favorites) ]) に追加する場合:

- 追加する Web GUI ページを開きます。
- ページの左上の領域にある星の形をした ([お気に入り (Favorites) ]) アイコンをクリックします。

**ステップ 2** ポップアップウィンドウのリンクを [ドッキングアイテム (Docked Items) ] 領域 ([ドック (Dock) ] アイコン > [ドッキングアイテム (Docked Items) ]) に追加する場合:

- 追加するポップアップウィンドウを開き、その 360 度ビューを開きます。
- ポップアップウィンドウの右上隅にある [ドックに追加 (Add to Dock) ] アイコンをクリックします。

## ダッシュボードのデータが不足している理由の特定

ダッシュボードまたはダッシュレットでデータが欠落している場合は、次の手順を実行して原因を特定します。

**ステップ 1** ダッシュレットのデータがフィルタ処理されていないかを確認します。



ダッシュレット名の隣に [編集済み (Edited)] と表示されている場合は、次の手順を実行します。

- a) [編集 (Edit)] アイコンをクリックし、現在のフィルタ設定を調整します。
- b) [保存して閉じる (Save and Close)] をクリックします。

**ステップ 2** デバイスに問題がないかを確認します。

基本デバイス情報を取得する：[\[デバイス 360 \(Device 360\)\] ビュー](#)を参照してください。

**ステップ 3** デバイス インベントリが正しく収集されているかを確認します。

[インベントリ収集またはディスカバリの問題があるデバイスの検索](#)を参照してください。

**ステップ 4** Cisco EPN Manager が使用しているモニタリング ポリシーを確認して、必要なデータが収集されているかどうかを確認します。

- a) ダッシュレットの [ヘルプ (Help)] アイコンをクリックして、ダッシュレットの概要ポップアップウィンドウを開きます。
- b) [データ ソース (Data Sources)] の下に示されるモニタリング ポリシーを確認します。  
モニタリング ポリシーについては、[モニタリング ポリシー リファレンス](#)で説明しています。
- c) [モニタリング ポリシー (Monitoring Policies)] ページにこのポリシーがリストされ、アクティブであることを確認します。

このページを開くには、[[モニタリング \(Monitor\)](#)] > [[モニタリング ツール \(Monitoring Tools\)](#)] > [[モニタリング ポリシー \(Monitoring Policies\)](#)] を選択し、[[マイ ポリシー \(My Policies\)](#)] を選択します。

- ポリシーがリストされていない場合は、ステップ 4d に進みます。
  - ポリシーがリストされ、ステータスが [アクティブ (Active)] である場合には、[[詳細 \(Details\)](#)] をクリックして [収集データ (Collection Data)] ポップアップウィンドウを開き、デバイスがポリシーによってモニタリングされていることを確認します。そうでない場合は、[ポリシーでモニタするデバイス セットの変更](#)の説明に従ってポリシーを調整する必要があります。デバイスがポリシーに含まれている場合は、ステップ 5 に進みます。
  - ポリシーがリストされ、ステータスが [非アクティブ (Inactive)] である場合には、ポリシーを選択して [アクティブ化 (Activate)] をクリックします。
- d) 新しいモニタリング ポリシーを作成してアクティブ化します。

[モニタ対象を調整する](#)を参照してください。

**ステップ 5** 関連するデータがシステムから消去されていないかを確認します。


[データ保持設定が Web GUI データに及ぼす影響](#)を参照してください。

## 別の仮想ドメインで作業する

仮想ドメインは、デバイスの論理的なグループであり、特定のサイトやデバイスへのアクセスを制御するために使用されます。仮想ドメインは、物理サイト、デバイスタイプ、ユーザコミュニティ、または管理者が選択するあらゆる指定項目に基づいて設定できます。すべてのデバイスはROOT-DOMAINに属します。ROOT-DOMAINはすべての新しい仮想ドメインの親ドメインです。仮想ドメインの詳細については、[デバイスへのユーザアクセスを制御するための仮想ドメインの作成](#)を参照してください。

複数の仮想ドメインへのアクセスが許可されている場合は、次の手順に従って別のドメインに切り替えることができます。

---

**ステップ1** タイトルバーの右側にある  をクリックします。

**ステップ2** [Virtual Domain: current-domain] を選択します。

**ステップ3** [仮想ドメイン (Virtual Domain)] ドロップダウンリストで別のドメインを選択します。

Cisco EPN Manager によって作業ドメインがただちに変更されます。

---

## ジョブ ダッシュボードを使用したジョブの管理

適切なユーザアカウント権限が付与されている場合は、ジョブ ダッシュボードを使用して Cisco EPN Manager ジョブを管理できます。ジョブ ダッシュボードを表示するには、[管理 (Administration)] > [ダッシュボード (Dashboards)] > [ジョブ ダッシュボード (Job Dashboard)] の順に選択します。ここでは、ジョブが正常に完了したか、部分的に成功したか、または失敗したかを確認できます。

実行中のジョブの数が多すぎると、Cisco EPN Manager ではリソースが使用可能になるまで他のジョブがキューに入れられます。これが原因で、スケジュールされているジョブがその通常の開始時刻を超えて遅延されると、そのジョブは実行されません。このジョブは手動で実行する必要があります。

一部のジョブでは承認が必要です。この場合は、Cisco EPN Manager から、管理者権限が付与されているユーザに対し、ジョブがスケジュールされており承認が必要であることを通知するメールが送信されます。ジョブの承認後にジョブが実行されます。[ジョブ承認者を設定してジョブを承認する](#)を参照してください。

次の表に、ジョブ ダッシュボードに表示されるボタンの説明を示します。

表 3: ジョブ ダッシュボードのボタン

ボタン	説明
[ジョブの削除 (Delete Job) ]	ジョブ ダッシュボードからジョブを削除します。
[ジョブの編集 (Edit Job) ]	選択したジョブの設定を編集します。
[スケジュールの編集 (Edit Schedule) ]	シリーズのスケジュールを表示し、編集できるようにします (開始時刻、間隔、終了時刻)。
[実行 (Run) ]	選択したジョブの新しいインスタンスを実行します。このボタンは、部分的に成功したジョブまたは失敗したジョブを再実行する場合に使用します。ジョブは、失敗したコンポーネントまたは部分的に成功したコンポーネントに対してのみ実行されます。
[中断 (Abort) ]	現在実行中のジョブを停止します。ただしこのジョブは後で再実行できます。すべてのジョブを中断することはできません。これに該当する場合、Cisco EPN Manager がそのことを示します。
[シリーズをキャンセル (Cancel Series) ]	現在実行中のジョブを停止し、このジョブを再実行できないようにします。ジョブがシリーズの一部の場合、今後の実行には影響しません。
[シリーズの一時停止 (Pause Series) ]	スケジュールされているジョブ シリーズを一時停止します。シリーズを一時停止にすると、([実行 (Run) ]を使用して) そのシリーズのインスタンスを実行することはできません。
[シリーズの再開 (Resume Series) ]	一時停止になっていたスケジュール済みジョブ シリーズを再開します。



(注) [ジョブの削除 (Delete Job) ]、[中断 (Abort) ]、および[シリーズをキャンセル (Cancel Series) ] ボタンは、システム ジョブとポーラー ジョブの場合は使用できません。

ジョブの詳細を表示するには、次の手順に従います。

- ステップ 1 [管理 (Administration) ] > [ダッシュボード (Dashboards) ] > [ジョブダッシュボード (Job Dashboard) ] の順に選択します。
- ステップ 2 [ジョブ (Jobs) ] ペインで、基本的な情報 (ジョブタイプ、ステータス、ジョブ期間、次回開始時刻など) を取得するジョブ シリーズを選択します。
- ステップ 3 ジョブ間隔を表示するには、ジョブ インスタンスのハイパーリンクをクリックします。

ジョブ ページ上部の [繰り返し (Recurrence) ] フィールドに、ジョブの繰り返し頻度が表示されます。ジョブ間隔の詳細は、トリガーするすべてのジョブで追加されます。

**ステップ 4** 失敗したジョブまたは部分的に成功したジョブに関する詳細を確認するには、ジョブインスタンスのハイパーリンクをクリックし、結果ページに表示されるエントリを展開します。


これは特に、インベントリ関連のジョブで便利です。たとえば、ユーザが CSV ファイルを使用してデバイスをインポートした場合 (一括インポート)、ジョブは [ジョブ (Jobs) ] サイドバーメニューの [ユーザ ジョブ (User Jobs) ] > [デバイスの一括インポート (Device Bulk Import) ] に表示されます。ジョブの詳細には、正常に追加されたデバイスと、追加されなかったデバイスのリストが表示されます。

### 例

失敗したソフトウェア イメージ インポート ジョブのトラブルシューティングを行うには、次の手順に従います。

1. [ジョブ (Jobs) ] サイドバーメニューから、[ユーザ ジョブ (User Jobs) ] > [ソフトウェア イメージのインポート (Software Image Import) ] を選択します。
2. テーブルにある失敗したジョブを見つけ、そのハイパーリンクをクリックします。
3. ジョブの詳細がまだ展開されていない場合には展開し、このジョブに関連付けられているデバイスのリストと、各デバイスのイメージインポートのステータスを表示します。
4. 特定デバイスのインポートの詳細情報を表示するには、[ステータス (Status) ] 列でそのデバイスの [i] (情報) アイコンをクリックします。こうすると、[イメージ管理ジョブの結果 (Image Management Job Results) ] ポップアップウィンドウが開きます。
5. 各ステップとステータスを確認します。たとえば、[プロトコル SFTP を使用したイメージの収集 (Collecting image with Protocol: SFTP) ] 列に、そのデバイスで SFTP がサポートされていないことが示されることがあります。

## ユーザ設定の変更

ユーザ設定を変更するには、画面の右上隅にある  アイコンをクリックして [自分の環境設定 (My Preferences) ] を選択します。必要な変更を加えたら、[保存 (Save) ] をクリックして変更した設定を適用します。

ユーザ プリファレンス設定	説明
ページあたりのリストの項目数 (Items Per Page List)	<p>この設定を使用して、AP、コントローラ、サイトマップの [モニタリング (Monitoring)] ページに表示されるエントリの数を定義します。</p> <p>デフォルトでは、50 のエントリが表示されます。</p> <p>(注) この設定は、ネットワーク デバイス、アラームおよびイベント、設定アーカイブ、ソフトウェアイメージの管理、設定には適用されません。</p>
次世代マップを使用 (Use Next Generation Maps)	デフォルトで、この設定は有効になっています。
自動的にグループ選択を変更して回線/VCのデバイスをすべて表示する (Automatically switch group selection to show all devices in the circuit/VC)	デフォルトでは、この設定は無効になっています。
テーブルの更新間隔 (Refresh Interval for Tables)	<p>この設定を使用して、ネットワーク トポロジビューのテーブルが更新される時間間隔を定義します。</p> <p>デフォルトでは、テーブルの更新間隔は 1 分です。</p>
UI更新間隔 (UI refresh interval)	<p>この設定を使用して、UI 内のデータがシャreshビューで更新される頻度を定義します。</p> <p>デフォルトでは、UI の更新間隔は 1 分です。</p>
MSE管理ビューの使用 (Use MSE Admin view)	デフォルトで、この設定は有効になっています。
Logout idle user	<p>この設定を使用して、アイドル状態のユーザを自動的にログアウトするかどうかを定義します。デフォルトで、このオプションは有効になっています。</p> <p>(注) この設定を無効にするには、最初に [システム設定 (System Settings)] で [グローバルアイドルユーザ (Global idle user)] がオフになっていることを確認します。</p>


ユーザ プリファレンス設定	説明
<b>Logout idle user after</b>	この設定では、自動ログアウトのアイドル時間も設定できます。デフォルトの値は10分です。  (注) この値は [システム設定 (System Settings)] の [グローバルアイドルタイムアウト (Global Idle timeout)] の値を超えることはできません。

[アラームおよびイベント (Alarms and Events)] のユーザ設定の詳細については、[アラームとイベントの表示設定のセットアップ](#)を参照してください。

## Cisco EPN Manager 機能の拡張

上級ユーザは、次のツールを使用して Cisco EPN Manager を拡張できます。

- Cisco Evolved Programmable Network Manager MTOSI API : Cisco EPN Manager を運用サポートシステム (OSS) と統合します。
- Cisco Evolved Programmable Network Manager REST API : その他の管理操作を管理します。

これらのツールに関する情報を確認するには、タイトルバーの右側にある  をクリックし、[ヘルプ (Help)] > [APIヘルプ (API Help)] を選択します。Cisco.com から、次のドキュメントをダウンロードすることもできます。

- [Cisco Evolved Programmable Network Manager MTOSI API ガイド \(OSS 統合\)](#)
- [Cisco Evolved Programmable Network Manager RESTCONF NBI ガイド](#)

## 最新のインベントリに存在をチェック Cisco EPN Manager マニュアル

Cisco EPN Manager で提供されているすべてのドキュメントに関する情報およびリンクについては、『[Cisco Evolved Programmable Network Manager ドキュメントの概要](#)』を参照してください。



- (注) マニュアルの発行後に、マニュアルをアップデートすることがあります。マニュアルのアップデートについては、Cisco.com で確認してください。